



プレジャーボート 係船申請の流れ

係船手続きの段階をわかりやすく説明します

係船申請の流れ



場所の確定

空き状況の確認

県は利用者からの連絡後、希望泊地の空き状況を調査し適切な場所を選定します。

安全性と調整

船のサイズや自然条件を考慮し、既存利用者との調整と安全確保を行います。

利用者と調整

確定した係船場所の詳細や利用開始日を利用者と調整します。

ルール説明とトラブル防止

利用ルールや利用料金などを説明し、トラブル防止と利用者満足度向上に繋がります。



申請書の提出

申請書の内容

申請書には船舶情報、所有者情報、利用期間などが詳しく記載されます。

提出方法の多様化

提出は郵送か窓口での提出が可能です。

必要書類の準備

申請時に船舶検査証や利用のための誓約書など必要書類の添付が求められます。

迅速な審査と連絡

県は申請内容を確認し、不備があれば速やかに利用者へ連絡し処理期間を短縮します。



許可

許可の意義

許可は利用者が泊地を正式に使用可能である法的証明です。安全と適合性が考慮されます。

許可通知の方法

許可は書面で通知され、利用開始日や利用条件など詳細が含まれます。

許可条件の提示

許可条件が提示され、利用者はこれらの遵守を求められます。



係船料金の納入

料金体系の明確化

船のサイズ・漁船登録の有無・利用期間に応じた料金体系で使用料金を算定し、利用者の理解を深めます。

納入方法

十八親和銀行・本支店、長崎県収納代理金融機関、九州内のゆうちょ銀行または郵便局など、多様な支払い方法に対応し利便性を高めます。

納入期限と対応策

納入期限を明確にし、トラブルを防止します。

納入確認と信頼構築

納入確認後、許可シール送付準備のスムーズな処理で信頼を高めます。

係船許可シール送付

係船許可シールの意義

係船許可シールは正式な許可証明であり、泊地でのトラブル防止に役立ちます。

送付方法と柔軟性

シールは郵送が基本ですが、窓口受け取りも対応可能で利用者の利便性を高めます。

申請手続きの完結

許可シールの送付により、申請の流れが完了し利用者に安心感を与えます。

